

**製品名: FGFR3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81463**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	87.7kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FGFR3
別名	ACH; CEK2; JTK4; CD333; HSFGR3EX
遺伝子 ID	2261.0
SwissProt ID	P22607
免疫原	大腸菌で発現したヒト FGFR3 (AA: 529-694) の精製された組み換え断片。

**背景**

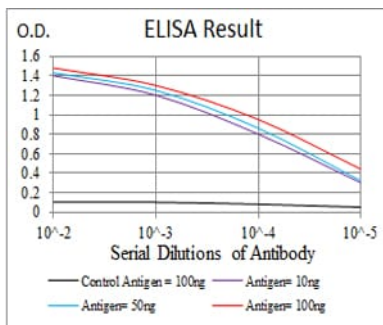
この遺伝子は線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) ファミリーのメンバーをコードし、そのアミノ酸配列はメンバー間および異なる種間で高度に保存されています。FGFR ファミリーのメンバーは、リガンド親和性および組織分布において互いに異なります。全長の代

表的なタンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、単一の疎水性膜貫通セグメント、および細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されます。タンパク質の細胞外部分は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流のシグナルカスケードを開始し、最終的に有糸分裂誘発および分化に影響を及ぼします。この特定のファミリーメンバーは、酸性および塩基性線維芽細胞増殖ホルモンに結合し、骨の発達および維持に役割を果たします。この遺伝子の変異は、頭蓋縫合癒合症および複数のタイプの骨格形成不全を引き起こします。異なるタンパク質アイソフォームをコードする3つの選択的スプライシング転写バリエーションが記載されています。[RefSeq提供、2009年7月]

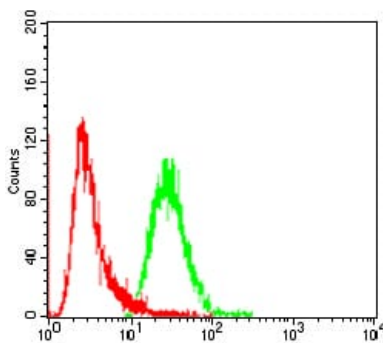
## 研究分野

アポトーシス、TGF- $\beta$ シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

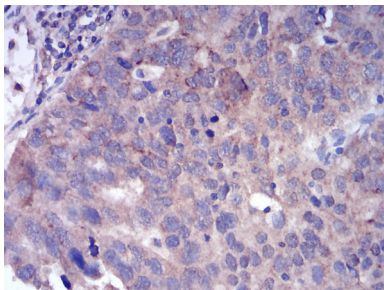
## 画像データ



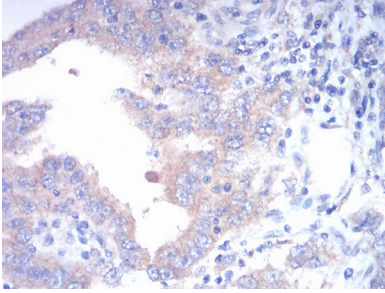
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



FGFR3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による FGFR3 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による FGFR3 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。